



# 日本アカデミック・アドバイジング協会 ニューズレター

No.4 2023年7月10日発行

日本アカデミック・アドバイジング協会  
(Japan Association for Academic Advising: 通称JAAA)

事務局：〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 岸岡研究室

Email: info@academic-advising.jp、URL: https://academic-advising.jp/

## << 日本アカデミック・アドバイジング協会 第3回年次大会の開催について >>

JAAA第3回年次大会 (2023年)

大会実行委員長 岸岡 洋介 (京都外国語大学)

今大会のテーマは、“Student Successに向けたアカデミック・アドバイジングの多様なアプローチ”です。アカデミック・アドバイジングとは、「学生自身による将来の目的・目標の決定とその達成に向けて、担当者が途中段階のアセスメントを行いながら学生個人のニーズに沿った支援をすること（協会HP参照）」であり、それらの担い手は専門職や教員だけではなく、学生生活や就職、学修支援など多様な現場に携わる職員など幅広く存在します（担い手を総称して、アドバイザーとします）。また、学生への対応について対面面談、オンライン面談、SNSを利用した情報発信など学生との接触手段もさまざまであれば、実際のコミュニケーションの取り方についても多様なアプローチが考えられます。

そこで、今回の年次大会は、大会全体をとおして“アドバイザーの能力開発”を目指した構成を意識しました。例年は、午後からシンポジウムが企画されておりましたが、今回は企画セッションと銘打って、アカデミック・アドバイジングの多様なアプローチの一つでもある“学生の強みを生かすアプローチ”について取り上げたいと思っています。山崎めぐみ先生（創価大学）よりアドバイジングの多様なアプローチの概説、ポジティブ心理学を日本に持ち込んだ島井哲志先生（関西福祉科学大学）より「ポジティブ心理学からの強みを活かす学生支援」のご講演をご堪能いただければと思っています。

また、今回も会員による6つの自由研究発表と3つのテーマ別ワークショップを設けています。ワークショップも多様なアプローチで揃えておりますので、参加者の皆さまに合った能力開発を楽しんでいただけたら幸いです。年次大会終了後には恒例となった簡単な交流の場もご用意しています。

オンライン開催となりますが、皆さまが「学べる」、「活かせる」、「つながれる」そんな場を演出できればと実行委員会一同願っております。当日、皆さまとお会いできることを心より楽しみにしております。

【日時】8月26日（土）10:00～17:30（終了後、30分程度の懇親会（任意参加））

【形態】オンライン（Zoom）

【プログラム】

### 大会テーマ「Student Successに向けたアカデミック・アドバイジングの多様なアプローチ」

総合司会：

深谷 麻未・西田 祐太郎（立命館大学）

10:00-12:00 自由研究発表

12:00-13:00 お昼休憩

13:00-13:30 総会

13:45-15:45 企画セッション「ポジティブ心理学にもとづく学生の強みを活かすアプローチの可能性」  
山崎 めぐみ（創価大学）・島井 哲志（関西福祉科学大学）

15:45-16:00 休憩

16:00-17:30 テーマ別ワークショップ（90分）

テーマ1 プロとしてこのスキルだけはもっておこう！（学生が自己決定するためのロールプレイ）

鈴木 浩子（日本薬科大学）・杉田 郁代（高知大学）

テーマ2 ポジティブ心理学を用いたアドバイジングの方法

山野 洋一（立命館大学）・小林 忠資（岡山理科大学）・清水 栄子（追手門学院大学）

テーマ3 取組をシェアする方法ワークショップ：持ち寄って語り合おう！

馬本 勉（県立広島大学）・木原 宏子（立命館大学）・嶋田 みのり（東北学院大学）

17:30-18:00 交流会（任意）

【参加者】会員，非会員

【参加費】会員2,000円（学生0円），非会員3,000円（学生0円）

## 【自由研究発表】 10:00～12:00

### ◎部会A 司会：山田 剛史（関西大学）

- ① 分野横断的学修の相談事例にもとづく「マイナー学修アドバイジング・マニュアル」の作成  
○神田 麻衣子・柿原 豪（新潟大学）
- ② 立命館大学グローバル教養学部における「移行アドバイジング」実践報告  
○島田 敬久（立命館大学）
- ③ Student Successをどのように捉え、どのように関与するか  
ー学習支援専門職員へのフォーカスグループインタビューを通じた探索的検討ー  
○山田 剛史（関西大学）・茅根 未央（東洋大学）・木原 宏子・深谷 麻未  
・渡邊 あい子・岸岡 奈津子（立命館大学）

### ◎部会B 司会：清水 栄子（追手門学院大学）

- ① 学生の力を活かしたStudent Success ーピア・サポート活動からの実践報告ー  
○田中 美也子（大阪経済大学）
- ② マンダラチャートを活用した「目標達成ゼミ」の実践  
○野間川内 一樹（岡山理科大学）
- ③ 新入生の困りごとと支援するピア・サポーターの成長ーオリター学生の支援と成長についてー  
○山野 洋一・細川 千絵・曾谷 直樹・一ノ瀬 和憲（立命館大学）

## 【企画セッション】 13:45～15:45

### テーマ：ポジティブ心理学にもとづく学生の強みを活かすアプローチの可能性

進行：小林 忠資（岡山理科大学）

アカデミック・アドバイジングでは、哲学、人類学、社会学、心理学の理論にもとづく多様なアプローチが用いられています。アドバイザーの用いるアプローチは、学生の状況や特性、アドバイザーの信念により異なります。本企画セッションでは、まずアドバイジングの多様なアプローチを概観します。そして、ポジティブ心理学にもとづくアプローチの可能性について理解を深めたいと考えます。アカデミック・アドバイジングでは、学生の問題に焦点が当てられてきました。人間の心の問題ではなく、強み（ストレンクス）に焦点を当てるポジティブ心理学の知見を理解し、アカデミック・アドバイジングにどのように活かすことができるのか、参加者の皆さまと考える機会とします。

主旨説明 小林 忠資（岡山理科大学）

アカデミック・アドバイジングの目的に合わせたアプローチの考え方  
山崎 めぐみ（創価大学）

ポジティブ心理学からの強みを活かす学生支援  
島井 哲志（関西福祉科学大学）

**【テーマ別ワークショップ】 16:00～17:30****テーマ1：プロとしてこのスキルだけはもっておこう！（学生が自己決定するためのロールプレイ）****鈴木 浩子（日本薬科大学）・杉田 郁代（高知大学）**

大学の教職員は、異なる部署でそれぞれの役割を果たしながらアカデミック・アドバイジングの機能を果たしています。明確に、ご自身がアカデミック・アドバイザーという役割を担っている場合もありますが、授業担当、事務部署などでも、学生が自己決定するために関わっています。そこで、本セッションでは、ロールプレイの技法を使い、アカデミック・アドバイジングのプロとして、身につけたいスキルを実践します。ご自身の大学のプロフェッショナル・ディベロップメントでも使えるアイデアです。是非ご参加ください。

**テーマ2：ポジティブ心理学を用いたアドバイジングの方法****山野 洋一（立命館大学）・小林 忠資（岡山理科大学）・清水 栄子（追手門学院大学）**

当分科会では、企画セッションの講演をもとに、Wellbeingの充実を目指すポジティブ心理学の考えを、アカデミック・アドバイジングに具体的にどのように活用できるのかを考えます。学生の強みを活かすなどポジティブ心理学を用いたアドバイジングの方法を、グループワークと全体共有によって参加者の皆さまと検討します。

**テーマ3：取組をシェアする方法ワークショップ：持ち寄って語り合おう！****馬本 勉（県立広島大学）・木原 宏子（立命館大学）・嶋田 みのり（東北学院大学）**

アカデミック・アドバイジングの実践・研究は多くの高等教育機関で行われていますが、組織を超えて共有する機会は多くありません。機会があっても、「まだ十分でないから」と発表を躊躇される方も多いようです。そうした皆さんの感じるハードルを少しでも下げ、シェアすることで取組を発表する準備になればと願い、本ワークショップを企画しました。

参加者へのお願いはただ一つ。どうかご自身の実践や研究のポイントを、箇条書きにしてお集まりください（困りごとがあれば、それも）。書式は自由です。それをどう伝え、伝えることによって何をすることができるか、一緒に考えていきましょう。

**【閉会】 17:30****【参加者交流会♪】 大会終了後～18:00**

大会終了後、30分程度ですが、参加者同士が交流できる時間を共有します。お時間のある方は、是非ご参加ください。

日本アカデミック・アドバイジング協会 第3回年次大会実行委員会

実行委員長 岸岡 洋介（京都外国語大学）

小林 忠資（岡山理科大学）、西田 祐太郎（立命館大学）、深谷 麻未（立命館大学）

松本 清（東京工業大学）、山野 洋一（立命館大学）

Email : [info@academic-advising.jp](mailto:info@academic-advising.jp)、URL : <https://academic-advising.jp/>

## 参加申込について

### 1. 大会参加申込及び参加費納入期限

2023年8月17日（木）

#### 【参加費用一覧】

	会員	学生会員	非会員
参加費	2,000円	0円	3,000円
参加者交流会	無料	無料	無料

### 2. 大会参加申込及び参加費納入方法

事前決済システム（こくちーず）を利用しています。以下のURLにアクセスいただき、参加申込みおよび参加費振込みを行ってください。

<https://www.kokuchpro.com/event/JAAA20230826/>

※学会Webサイト内の年次大会ページからも、アクセスできます。

### 3. お申込みにあたって

- ▶ 本大会は、事前申込み制となっております。申込期限後は、受付できませんのでご注意ください。
- ▶ 本大会は、非会員の方もご参加いただけます。
- ▶ 団体会員のお申込みは、5名様までとさせていただきます（それ以上は、非会員としてお申込みください）。
- ▶ 現在非会員の方で、会員としての参加申込みをご希望の場合は、先に当協会のWebサイトより「会員申込」（7月28日（金）まで）をお願いします。  
追って会員決定通知をお送りしますので、入会費および年会費納入後、上記フォームにて期限内に参加申込みをお願いします。
- ▶ 参加費をお振込み後、ご都合によりキャンセルされる場合は、8月17日（木）までに申込みされた「こくちーず」内でキャンセル手続きを行っていただきますと返金されます。なお、8月18日以降のキャンセルについては、返金できませんのでご了承ください。
- ▶ 領収書については、こくちーずURLから振込みを完了すると即時発行可能となっておりますので、そちらからダウンロードをお願いいたします。
- ▶ 8月22日（火）に、当日参加用のZoomのURLと大会要旨集をお送りします。
- ▶ 年次大会終了後の参加者交流会の費用は無料です。  
ぜひご参加ください。



## << お知らせ >>

### 1) 会費納入のお願い

会費が未納な方は、出来るだけ7月28日（金）までにお支払いください。  
お振込みの際には、お名前の前に会員番号を記載してください（ご不明な場合は不要です）。  
「こくちーず」からお振込みされる方は、8月1日以降は不可です。ご注意ください。

### 2) 総会を欠席される個人会員の皆さまへ

総会は、個人会員の2分の1以上の出席により成立します（会則第13条）。総会を欠席される個人会員の方は、以下の委任状フォームより、議決権の委任をお届けください。

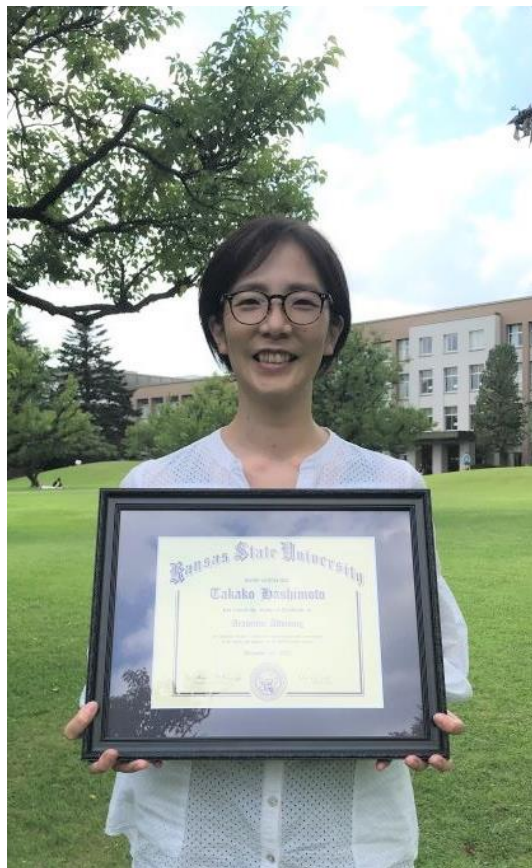
<https://onl.bz/wgb4ib9>

### 3) 所属先・住所等の変更連絡のお願い

お届けの所属先や住所などにご変更がある場合は、7月31日（月）までに、事務局までお知らせください。

## << 会員の活動紹介 >>

このコーナーでは、アカデミック・アドバイジングに関する会員の活動をご紹介します。会員の皆さまの活動の参考にしていただければと思います。



修了証を手に—ICUキャンパスにて—

### カンザス州立大学 Graduate Certificate Program in Academic Advisingについて

国際基督教大学 学修・教育センター  
大野 貴子

2022年1月から12月にかけてNACADA本部が置かれているカンザス州立大学の[Graduate Certificate Program in Academic Advising](#)を修了しました。本場アメリカのノウハウや、実践的なアドヴァイジングのコツやヒントを習得するという目的をもちていましたが、実際は、教育学、心理学、社会学、キャリア理論など多岐にわたる理論やフレームワークの学習が中心でした。本プログラムでは、それらを吸収し、アドヴァイザーとして学生をサポートするだけでなく、さらに広い視野をもって、所属する大学のアドヴァイジング制度の整備や、学生サービスの活性化、教務や大学のポリシー改善のために働きかけるなど、学生のためにadvocateする人材になることが期待されていました。

このプログラムでは所定の5つの大学院コース（それぞれ3単位、約1,500米ドル）をオンラインで修めます。非同期型で時差の問題はなく、読み書きが中心です。あるコースのシラバスには毎週10–15時間の学習時間が必要と書かれていました。5コースとも文献を読んだ上でオンライン掲示板で教員や約20名のクラスメイトとディスカッションを行い、さらに学期に数回レポート課題が出るという形式でした。私は、平日の夜は数時間ずつ、週末はほぼ終日を課題に費やしました。また、クラスで唯一の外国人履修者として日本の教育制度や大学生に関する文献やデータを引用しながら背景説明を行うことで日米社会や教育を比較する経験も積みました。

2008年に母校・ICUに入職し、留学支援業務を経て、理事・行政者支援を担当。2020年2月より学修・教育センターに配属となり、FD業務に従事。2021年1～8月にアカデミックプランニングサポート業務に関わったことがきっかけで、学生支援、高等教育、リベラルアーツ教育、教育社会学に興味をもち、読書に耽る日々を過ごしている。

#### 2022年春セメスター（1～5月）

##### 1. 「EDCEP 835 - Foundations of Academic Advising」

この基礎コースでは、主に「[The New Advisor Guidebook: Mastering the Art of Academic Advising](#)」とNACADA Journalなどに掲載された論文を読みました。さらに、[NACADAのPillars](#)や[CAS Standards for Academic Advising Programs](#)を学びながら、アドヴァイジング・フィロソフィーを作成し、最終課題ではアドヴァイジングのロールプレイを行いました。このコースは最も基本的な内容を網羅し、実践的で、他コースに比べて課題量が少なめで最初に履修するのを勧めます。

#### 2022年夏（6～7月）

##### 1. 「EDCEP 838 - Student Development Theory」（8週間）

教材「[Student Development in College: Theory, Research, and Practice](#)」から青年期の人種、セクシャリティ、ジェンダー、社会階級などのアイデンティティの形成や、認知論や道徳面の発達などに関する理論（ほとんどがアメリカでつくられたもの）を数多く学び、アメリカの人々の多様性や複雑さを目の当たりにしました。特定の理論を選び、これまで意識をしたことがなかった私自身のアイデンティティ形成と比較するレポート課題に苦労しました。学生が何故葛藤しているのか、発達のどのステージにいるのか、理論に当てはめて状況把握をできるようになります。

## 2. 「EDCEP 829 - Learning Principles」 (6週間)

教材「[Adult Learning](#)」(成人学習)を読み、大人の学びには特徴があることや(例:実益、即効性を重視する)、人によって学びやすいスタイルが様々であること(例:文章よりも図表で説明された方が理解しやすい)、身体を動かすなどの体験型の学習の効用、学びに対するモチベーションを上げる方法などを学びました。学生への学習スタイルのアドヴァイスに役立ちますし、自身の説明能力の向上にもつながりました。

## 2022年秋 Semester (8~12月)

## 1. 「EDCEP 851 - Multicultural Aspects of Academic Advising」

教材「[Advising Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, and Queer College Students](#)」と「[Advancing Social Justice](#)」を用い、主にLGBTQA+学生の状況とアドヴァイザーの対応、ソーシャルジャスティス(社会正義)教育について学びました。立場の弱いマイノリティーのアイデンティティをもつ学生が居場所を見つけられず精神的に不安定になっている時、彼らを支え、安心できる居場所(例:多文化センター、LGBTQA+センター)や信頼できるメンターを見つけられるように手助けをするのは、アドヴァイザーの重要な仕事です。仮に学内にそのようなセンターがない場合はアドヴァイザーが執行部にその設立を訴えるなど、学生に寄り添い、advocateしなさいと教わりました。

## 2. 「EDCEP 863 - Trends in Career Development」

教材「[Career Development and Counseling](#)」とAAC&UやNACEなどの膨大な資料を手がかりに、アメリカにおけるキャリアカウンセリングの歴史、大学教育の価値に関する考察、キャリア理論などを学び、最も収穫の多いコースでした。私自身のキャリアや仕事に求める要素を振り返ることができましたし、[O\\*NET Interest Profiler](#)、サビカスの「[My Career Story](#)」やクランボルトの計画的偶発性理論をアドヴァイジングに組み込みたいと考えています。

同じ目標をもったクラスメイトとの交流から大変刺激を受けた1年間でした。幅広い年齢層で職業経験も様々。掲示板では実体験に基づいた事例やアドヴァイスに満ちていて学びが深まりました。(そして、励まし合いました。)また、コロナ禍にオンライン授業を受けていた学生に類似した学習体験を経験し(モチベーションを保ち、自身を律するのに苦労)、簡易的ではあれ海外の大学院プログラムに出願した経験と大学院レベルの授業の履修は、今後の学生対応に活かすことができる貴重な体験でした。

\*\*\*\*\*

## &lt;&lt; 各種委員会 構成員のご紹介 &gt;&gt;

役員	清水 栄子 (追手門学院大学)	山田 剛史 (関西大学)
	山崎 めぐみ (創価大学)	馬本 勉 (県立広島大学)
	私市 佐代美 (武庫川女子大学)	御厨 まり子 (明星大学)
	池田 輝政 (U&Cストラテジー)	秦 敬治 (岡山理科大学)
(事務局)	岸岡 洋介 (京都外国語大学)	岸岡 奈津子 (立命館大学)
研修部会	山崎 めぐみ (創価大学)	御厨 まり子 (明星大学)
	岡田 強志 (京都文教短期大学)	杉田 郁代 (高知大学)
	鈴木 浩子 (日本薬科大学)	福 博充 (創価大学)
研究部会	馬本 勉 (県立広島大学)	木原 宏子 (立命館大学)
	嶋田 みのり (東北学院大学)	竹山 優子 (筑紫女学園大学)
	宝来 華代子 (崇城大学)	
編集委員会	馬本 勉 (県立広島大学) (委員長)	竹山 優子 (筑紫女学園大学) (幹事)
(協会研究誌)	私市 佐代美 (武庫川女子大学)	嶋田 みのり (東北学院大学)
	宝来 華代子 (崇城大学)	
広報部会	私市 佐代美 (武庫川女子大学)	田中 美也子 (大阪経済大学)
	松田 優一 (関西大学)	芳中 宗一郎 (大阪産業大学)

## &lt; 編集後記 &gt;

皆さま、暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか?夏の第3回年次大会情報を含む、JAAAニュースレター4号をお届けします。今回は第3回年次大会のご案内の他、会員の活動を紹介するコーナーを新たに設けました。今年度は広報部会のメンバーも増え、ニュースレターの発行回数を増やして、情報発信に力を入れていく予定です。もし、皆さまの中で共有いただける活動のご報告がありましたら、是非、協会のメールアドレスまでご連絡ください! (編集担当:芳中)